



1 上越市立歴史博物館

「越後の都」をテーマに、安土桃山時代以降の地域の歴史を解説。春日山城・福島城・高田城の三城の変遷やその時代背景、その後の地域の発展の様子を学べます。新装したカフェコーナーやミュージアムショップがあり、お休みどころとしてご利用いただけます。

所 本城町7-7
☎ 025-524-3120
🕒 4~11月/9:00~17:00
12~3月/10:00~16:00
休 月曜日（月曜日が祝日のときは翌日）、祝日の翌日、年末年始
¥ 一般510円/小・中学生、高校生260円
（高田城三重櫓との共通入館券 一般620円/小・中学生、高校生320円）



西堀にかかる赤い橋と自然の色のコントラストが美しい



2 小林古径記念美術館 (2020年10月3日オープン)

小林古径と上越市ゆかりの作家の作品を中心に紹介しています。美術館の敷地内には小林古径邸本邸（国登録有形文化財）と復元された画室があり、作品とともに古径の芸術性や人となりを感じることができます。

所 本城町7-1
☎ 025-523-8680
🕒 9:00~17:00（冬期間は変更あり）
休 月曜日（月曜日が祝日のときは翌日）、祝日の翌日、年末年始、このほか展示替え臨時休館あり
¥ 一般510円/小・中学生、高校生260円（このほか年間観覧券あり）



高田城址公園

上越市にゆかりのある、佐藤忠良などの芸術家の作品16基と、岩野勇三ブロンズコーナー

お堀一面にはすが咲く。涼風に吹かれながらの散歩がおすすめ！



3 高田城三重櫓

高田城跡は、新潟県の指定史跡となっており、その上に建つ高田城三重櫓を再建するにあたっては、ち密な考証を行いました。江戸時代の絵図や古文書の検討、さらには発掘調査など詳細な調査・研究を行い、設計に活かしました。

規模は、稲葉正通時代の「高田城図関尺」にある数値とほぼ同様に、外観は松平光長時代の「高田城内絵図」を参考としました。

所 本城町6-1
☎ 025-526-5915
🕒 9:00~17:00
休 月曜日（月曜日が祝日のときは翌日）、祝日の翌日、年末年始（このほか冬期臨時休館あり）
¥ 一般310円/小・中学生、高校生160円
（歴史博物館との共通入館券 一般620円/小・中学生、高校生320円）



満開になると桜のトンネルになるさくらロード

コラム

小林古径 (1883~1957年)

高田土橋町（現上越市大町）生まれ。「竹取物語」「清姫」「髪」などに代表される作品は、研ぎ澄まされた線描の美しさとともに清澄な色彩感覚が作品に高い品格を与えています。昭和25年（1950）には文化勲章を受章しました。

5 館共通入館券

歴史・文化に関連する市公共施設の、お得な共通入館券を販売します。ぜひ、ご利用ください。

対象/上越市立歴史博物館、高田城三重櫓、小林古径記念美術館、日本スキー発祥記念館（P32）、坂口記念館（P37）
販売/2020年10月3日から（小林古径記念美術館のオープンに合わせて）
※詳しくは上越市文化振興課まで ☎025-526-6903

コラム

小川未明 (1882~1961年)

高城村（現上越市幸町）生まれ。数多くの童話作品を創作し、「日本のアンデルセン」とも呼ばれ、児童文学の近代化や地位の向上に貢献。「赤い蠟燭と人魚」「野ばら」などの代表作を生み出し、昭和28年（1953）には文化功労者に選ばれました。



4 小川未明文学館

小川未明の業績と作品をはじめ、生い立ちや人となりなどを紹介しています。未明の書斎を再現した「未明の部屋」では、実際に使用していた文机などがあり、童話が生まれた場所の雰囲気や佇まいを感じることができます。

所 本城町8-30（高田図書館内）
☎ 025-523-1083
025-520-5629（上越市文化振興課）
電話対応可能時間：8:30~17:15（土・日・祝日及び年末年始は除く）
🕒 火曜日~金曜日/10:00~19:00（6~9月は20:00まで）
土・日・祝日/10:00~18:00
休 月曜日（月曜日が祝日のときは翌日）、祝日の翌日、第3木曜日、年末年始
¥ 入館・見学は無料

